

健全化判断比率

指 標	結 果	早期健全化基準※	各指標の内容
実質赤字比率	数値なし	13.05%	一般会計を中心とした赤字の割合を表す指標です。
連結実質赤字比率	数値なし	18.05%	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合を表す指標です。
実質公債費比率	8.5%	25%	市の平均的な年間収入に対する借金返済額の割合を表す指標です。
将来負担比率	47.3%	350%	市の平均的な年間収入に対する将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合を表す指標です。

※この基準を超えると国の定めに従い、健全化に向けた取り組みが必要となります。

指 標	結 果	経営健全化基準※	指標の内容
資金不足 比率	下水道事業 数値なし	20%	公営企業(滝川市は下水道事業・病院事業会計が該当します)の資金不足額が、事業規模に対してどの程度の割合なのかを表す指標です。
	病院事業 数値なし	20%	

※資金不足比率が経営健全化基準を上回った場合には、経営健全化計画を策定し、経営の健全化に努めなければなりません。

令和4年度予算の執行状況——令和4年9月末現在

▼各会計の現在高 (万円)

		予算額	収入済額	執行率(対予算)	支出済額	執行率(対予算)
特 別 会 計	一般会計	2,255,701	1,075,287	47.7%	994,980	44.1%
	国民健康保険	449,387	195,789	43.6%	179,252	39.9%
	公営住宅	48,474	27,160	56.0%	18,548	38.3%
	介護保険	408,088	223,133	54.7%	147,866	36.2%
	後期高齢者	71,577	33,267	46.5%	21,696	30.3%

▼企業会計の現在高 (万円)

		収 入			支 出		
		予算額	執行済額	執行率(対予算)	予算額	執行済額	執行率(対予算)
下水道 事業	収益的収支	134,161	56,558	42.2%	130,239	14,193	10.9%
	資本的収支	68,179	14,167	20.8%	115,033	35,465	30.8%
病院 事業	収益的収支	728,696	374,890	51.4%	724,579	285,572	39.4%
	資本的収支	30,141	60	0.2%	72,705	36,439	50.1%

▼一時借入金の現在高

令和4年9月末現在の一時借入金の残高は0円です。
※市が一時的に資金不足となった場合、金融機関から借りるお金を「一時借入金」といいます。



問合先 財政課 Tel.28-8008

市の財産(令和3年度末)

土 地 1,407万㎡	建 物 33万㎡	基 金 現金など 60億4,784万円	有価証券 3,495万円	出資金 37億899万円
--------------------	-----------------	-------------------------------	---------------------	---------------------

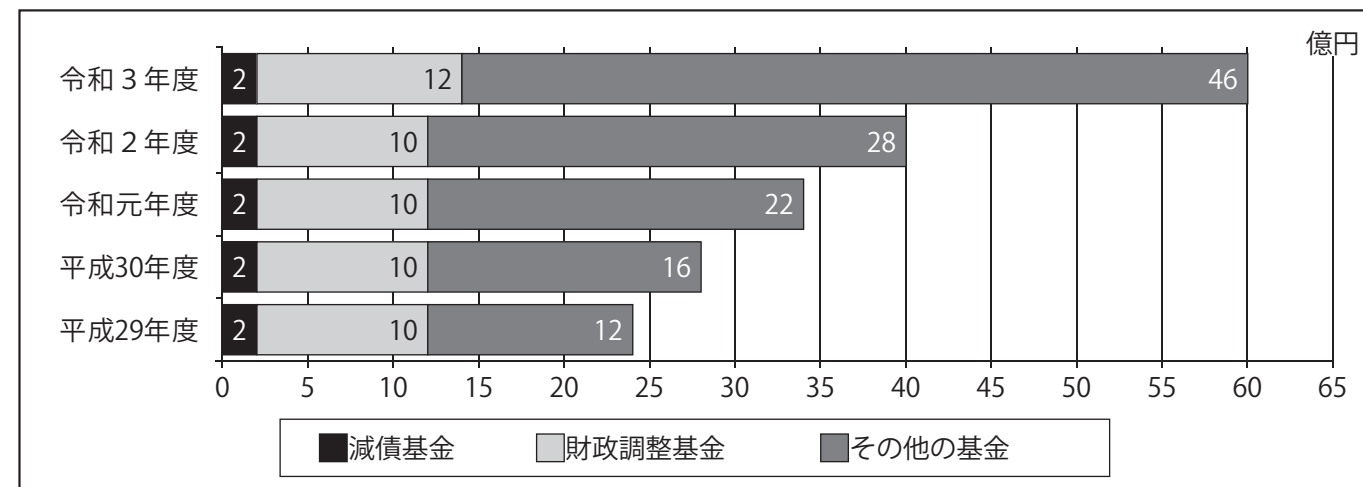
市債の現在高と基金残高推移(令和3年度末)

▼市債(市の借金)の現在高

会 計	金 額
一般会計	150億8,225万円
公営住宅事業特別会計	24億6,922万円
土地区画整理事業特別会計	9,840万円
下水道事業会計	58億1,683万円
病院事業会計	75億5,717万円
合 計	310億2,387万円



▼基金(市の貯金)残高推移



※減債基金とは、将来の借金の返済に備え、積み立てる基金です。

※財政調整基金とは、年度によって生じる財源の不均衡を調整するための基金です。

市民1人当たりの金額

令和3年度決算をもとに税金(国民健康保険税除く)、借金(一般会計分)、貯金を1人当たりに置き換えてみました。

- 市民1人が納めた税金…………… 111,485円
- 市民1人の貯金(基金)…………… 157,537円
- 市民1人の借金(市債)…………… 392,869円

※ただし、市債の63.6%は国から地方交付税として戻してもらえる制度がありますので、実質的な市民1人の借金(市債)は143,044円となります。